

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

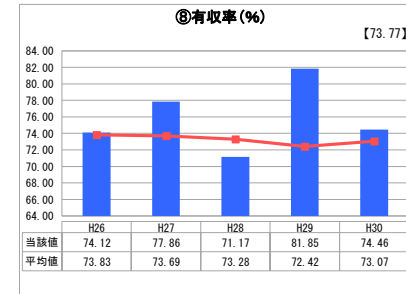
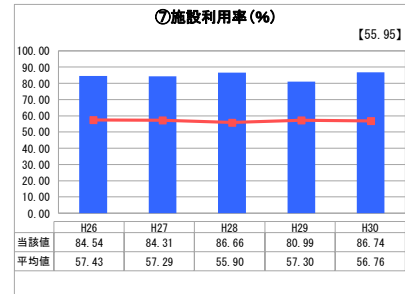
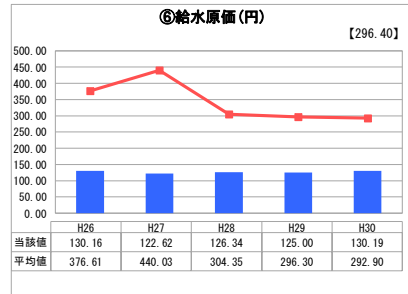
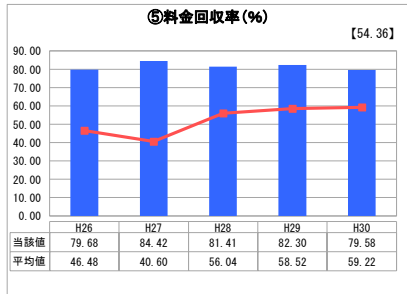
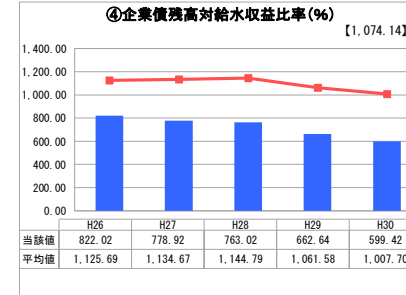
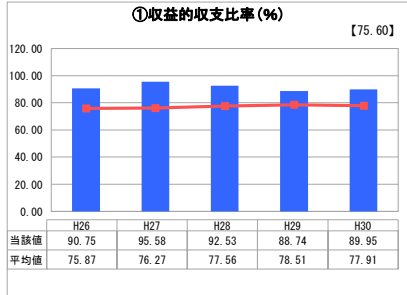
熊本県 南小国町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	85.45	2,080	

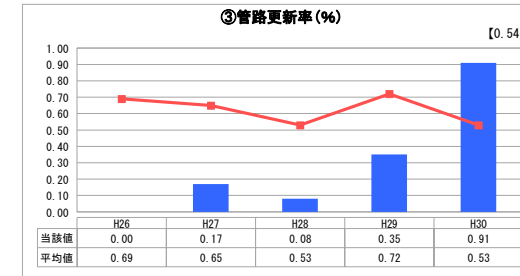
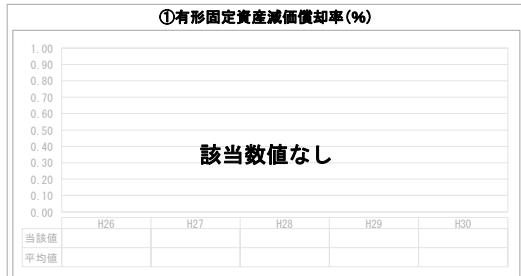
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,080	115.90	35.20
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,446	10.46	329.45

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

料金回収率は微減となっているが、収益的収支比率は微増となっており、経営改善に向けての取組として、未収金徴収の強化による成果が出ていると思われる。

ただ、施設と管路の更新計画については、老朽化を含めた現状での見直しが必要と思われる、併せて投資計画も見直したうえで、経営改善に向けた取組を行うことが必要と考える。

また、有収率の減少については水源湧水量減少が発生したことで、運搬等を行ったことでの一時的なものと考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

施設及び管路の更新計画を見直し、優先度の高い施設及び管路の選定や、投資計画を含めた計画見直しの検討が必要と考えられる。

## 全体総括

料金回収率は微減となっているが、収益的収支比率は微増となっており、経営改善に向けての取組の成果が出てきている。

今後としては施設全般の点検等を行ったうえで、老朽化対策も含めた施設と管路の更新計画の見直しを行い総合的な基本計画の策定に取り組む必要があると考える。

経営戦略：令和2年度までに策定予定